

お客様各位

高電圧ソリッドステートスイッチの購入検討有難う御座います。本製品は厳しく品質管理され、技術開発を維持することをお約束致します。設計に関しては、性能を最大限発揮すること、出来るだけ簡単に使用出来るように配慮しております。それでも、超高速パワーレクトロニクスでは、高周波・高電圧電子技術の経験が必要となります。本製品の初めてのご利用に際し、最も一般的な事故を避ける為に、以下の点にご注意下さい。

- 1.)アース端子を接地させない状態で、モジュールを接続しないで下さい。
修理不可能なダメージを与える可能性があり危険です。
- 2.)高周波ノイズ電流が流れ込まないように、アース接続は低インピーダンスにして下さい。
- 3.)ノイズ電流対策の為に、高電圧側 Power-GND と制御側 Logic-GND 間を接続して下さい。
フローティング回路設計においては、セラミック結合コンデンサが必要になります。
*カップリングコンデンサ (結合コンデンサ)・・・回路から回路へ信号を伝達するときに直結 (あるいは抵抗を通して) すると直流が伝わって都合が悪いときにコンデンサを使って結合する。
- 4.)HTS スイッチングモジュールは、単一半導体と同じように取り扱って下さい。
ショートやスパーク放電は避けて下さい。
誘導負荷や大きな漂遊(stray)誘導には、フリーホイールダイオードを使用して下さい。
- 5.)コントロールの配線と負荷の配線は近づけないで下さい。
- 6.)大きな誘導ループエリアができる配線やレイアウトは避けて下さい。
- 7.)HTS スイッチは安定した+5V 供給電源が必要です。5%以上超える値(+5.25V)は、修理不可能なダメージの原因となります。電流は約 1A での制限を推奨いたします。

技術的なサポートは(株)コムクラフトまでご連絡下さい。

お問い合わせの際には下記情報をご用意下さい。

- a.)アプリケーションの簡単な内容、特に負荷接続に関しては詳細にお願いします。
- b.)仕様条件 (電圧、電流、周波数、パルス幅など)
- c.)回路図、プリント基板の配置図。(写真など)
- d.)電圧・電流の波形図。(オシロなど)
- e.)実験機の配置写真。(装置内の設置周辺部の写真やレイアウト設計図)

お客様のご成功をお祈りし、またベルケ社の高品質な製品に満足頂ければと存じます。

